



レザーの本場でも出せない味わい、
「表情のある革」をつくり出す

長坂染革株式会社

「AIでは実現できない
手仕事を追求」

「イタリアや国内の産地でも応えられなかった絶妙なさじ加減を表現できる」と皮革業界、ファッション業界のビジネスパーソンから信頼が寄せられる長坂染革。

植物タンニン鞣しによるヌメ革を中心に染色や加工を施し、その個性を最大限に引き出す「表情のある革」を追求。

ファッションからインテリアまで幅広いジャンルで受注してきた経験と育まれた情熱によって「力強さ」と「繊細さ」という相反するニュアンスを一枚の革に内包させています。

2023年に発表した新作は、連続性のある弧線を描いた革。波、扇、ほか見る人のイメージネーションを掻き立てる模様が特徴です。公式インスタグラムアカウントで投稿すると次々とオファーが。「左官屋さんの技法で模様付けしました。革の屈曲に耐えられるようパテを調合。さらに箔貼り、白ワックス加工も可能です」（長坂さん）

伝統をモダンイズすることで革的な表現に。「コビーアンドベースト」という言葉がない時代から小紋柄は受け継がれています。手作業で同じ柄を繰り返す描くときのうねりやゆらぎこそが持ち味。現時点でAIにできないであろう、弊社独自の味わい、表情を重視しています（長坂さん）

- ☒ 企業
- ☒ クリエイター
- ☐ 一般（ネットショップ）

「ヴェンテージ」のように
何十年後も残る革を
顧客との対話で共創

顧客から持ち込まれた革にもフレキシブルに対応。なかには、ジビエ革（農林業への被害軽減のため有害捕獲された野生動物の革）も。顧客との対話から感覚やテイストといった目に見えない情報を的確にキャッチし、革づくりに反映。「一枚一枚すべて同じではないので真摯に向き合い、前例にとられないひと工夫を加えています」（長坂さん）

ヴィンテージ家具のようにパーマネントな魅力と愛着が増す「表情のある革」。手間ひまを惜しまない、実直な企業姿勢そのものです。

長坂染革 株式会社

〒124-0006 東京都葛飾区堀切 1-34-8
電話 03-3691-1161
FAX 03-3691-1512
mail nagasaki_senkaku@yahoo.co.jp
HP : <https://nagasaki-senkaku.jp/>

代表取締役 長坂 守康

HP



代表取締役
長坂 守康



東京産豚革の風合いを活かした斬新な企画

有限会社ティグレ

創業は1948年。東京の墨田で始まった革づくりを、現在は有限会社ティグレとして行っています。

ティグレで特に力を入れているのが、東京産豚革の「ブレン」。今まで50年続けてきた自社開発の豚革下地を世に出すために、スムーズとしての「ブレン」を開発しました。

こちらは一般的な豚革に比べて、ふっくらした厚みとコシがあり、適度な柔らかさが持ち味です。革自体が軽いので、もちろんそのまま一枚革で制作ができ、裏面もスエード面としても使えます。基本的には表面加工を施さない「素上げ」の革なので、作り手によってさまざまな型押しや二次加工による表現のバリエーションも可能です。「素上げの革はキズが多少目立ちますが、それを風合いとして活かしています。豚の個性として、ケンカをした跡のキズやシワも表面に表れることもありつつ、天然素材だからこそ唯一無二の味わいも伝えていきたい。」と加藤さんその場としてトウキョウレザーファクトリー内に、今年4月にショールームを開設しました。

豚革の素材感を活かした斬新な企画

70年以上前から、代々引き継がれ

- ☒ 企業
- ☒ クリエイター
- ☐ 一般（ネットショップ）

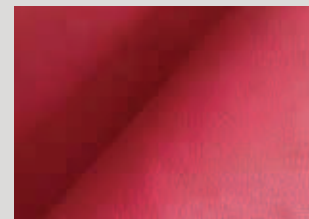
できた皮革製造の技術をもとに、革の魅力を最大限に引き出す革づくり・製品づくりを行っています。

ティグレの代表的な顔である「オースト」はロングセラーとなっています。

また定番人気の「マーキュリー」は、豚革に手作業でシワ加工を施し、洗いざらしの雰囲気を出した、自然なシワ感が特長の素材。この温かみのある素材感を活かして、バッグや革小物、インテリア雑貨などの皮革製品に次々と取り入れられています。

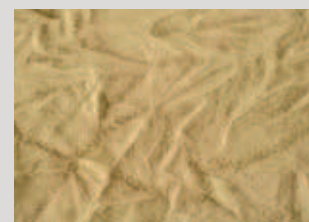
代表取締役の加藤文夫さんは、「ますます革に対する情熱が増しています。今後も新しい作品を企画して、提案し続けていくつもりです。ぜひお気軽にご相談ください。」とのこと。

reccomend



東京産豚革（ブレン）

東京墨田で作られたオリジナルの豚革。革の風合いをそのまま活かし、表面加工をしていない素上げ仕立て。しっかりした印象の革でコシがある



マーキュリー

豚革に手作業でシワ加工を施し、洗いざらしの雰囲気を醸し出し、自然なシワ感を表現しています。

ショールームのご案内

トウキョウレザーファクトリー

※アポイント制
不在の場合がありますので事前にご来場の予約をお願いします。

〒135-0001
東京都江東区毛利 3-15-13
（住吉駅 B2 出口より徒歩3分）
※息子の事務所になります。

有限会社 ティグレ

〒272-0813 千葉県市川市中山 1-7-15
電話 047-332-3747
携帯 090-1658-4860
FAX 047-332-3747
メール tigreleather@gmail.com
HP : <https://www.tigre-leather.com>

代表取締役 加藤 文夫

HP



代表取締役
加藤 文夫



清掃や安全管理も徹底

日本エコレザー認定基準をクリアする素材づくり。

福島化学工業株式会社

すぐ隣の工場では、四代目の泉正子さんを中心に、改めて清掃や安全管理などを見直し、クリーンな環境作りが行われています。使い込まれた大きな木製のドラムは、近年代替部品も少ないため、今の段階からしっかりと修理して、今後も長く使えるように整えているとのこと。

「特に原皮選びから鞣すまでの工程は、界限でも行える企業が少なくなりましたが、私たちの大きな強みにもなっています。ビッグレザーは、牛革と違って国内で生産できる

工場内のクリーンな環境作り

ノンクロム・ノンホルマリンの素材開発

原皮の仕入れに始まり、皮のなめしから染色、仕上げまで、一貫した生産が強いである福島化学工業。人と環境に配慮した真っ白なレザー「オルガノホワイト」をはじめ、ライニング等に使用されるオリジナルの7種の素材が、ノンクロム・ノンホルマリンの「日本エコレザー」の認定基準をクリアしています。

特に「オルガノホワイト」は、インクジェットプリント用の下地として使われることが多く、パステルカラーを染色する場合は色にじみもなく、きれいに表現できる点がクリエイターに支持されています。

傷や肌荒れが少ない原皮を選り分けるので、全体のうち一割程度しか取れない希少な素材です。

- ☒ 企業
- ☐ クリエイター
- ☐ 一般（ネットショップ）

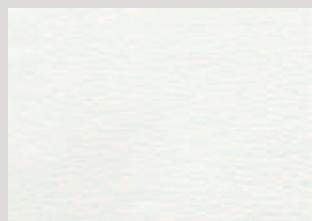
■ オルガノIIの特徴 ■

- 日本エコレザー基準認定章
新 No.210003 旧 No.150060
- 六価クロム及びクロムの使用はしていないので検出されません。
 - 焼却してもダイオキシン等の有害物質が発生しません。
 - ホルマリンも検出されません。
 - 白色で使用する場合は、無黄変です。
 - 染色性も良いです。下地が白いので特にパステルカラーが綺麗に表現できます。
 - 人体に無害です。



オイルアニリン

タンニンなめし革をオイルで仕上げ革らしさを表現



オルガノホワイト

人と環境に配慮したエコ素材

福島化学工業 株式会社

〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-9-17
電話 03-3616-0010
FAX 03-3616-0013
mail char@fukushima-kagaku.co.jp
HP : http://www.fukushima-kagaku.co.jp



代表取締役 福嶋不二子



代表取締役
福嶋 不二子



生地用の染料を使った色落ちの少ない革の開発

「この乾燥方法は20年ほど前から始めました。昔からのやり方であるクギ打ち乾燥は、手間と労力がかかりますが、高品質の革を待つお客さんがいるからこそ続けています。」と西野佳伸社長。



『板張り』乾燥

ハイクオリティの素材を生み出す

株式会社ニシノレザー

- ☒ 企業
- ☐ クリエイター
- ☐ 一般（ネットショップ）

新しい革づくりに余念がない西野社長は、コロナの期間中は研究に没頭し、色落ちしにくい革の開発にも取り組んできました。一般的には、色落ちしない染色処方になると、風合いや柔らかさが変わる傾向がありますが、西野さんは生地用の染料を使うなど、上手く出来る方法を考えました。なめし処方において、特に工夫が必要なのがわかり、現在も継続して開発を行っています。

「布と皮では組成が全く違うので、薬品の分量や温度管理も非常に気を遣います。ブラウン系や赤などは、石けんで洗っても色落ちしない確信はあるが、どうしても黒色が難しい・・・」とまだ納得がいかない様子。西野社長は、今日も工場でチャレンジを続けます。

株式会社 ニシノレザー

〒131-0042
東京都墨田区東墨田 3-5-3
電話 03-3616-4961
FAX 03-3613-4602



代表取締役 西野 佳伸

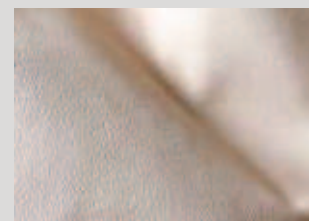


代表取締役
西野 佳伸

reccomend



エコレザーバリエーション
革の厚さや手触りの希望に応じた下地素材を作ります。



ベジタン#オリジナル
植物タンニンでフワッとぬくもりのあるなめし。

皮革素材の試験や技術の相談は

東京都立皮革技術センター

東京都の伝統的地場産業である皮革関連産業の技術向上を目的に開所され、皮革に関する研究、試験、技術支援や相談などを行っています。皮革全般に対応する皮革技術センター（墨田区）と、靴やはきものが専門の台東支所があります。

〒131-0042
東京都墨田区東墨田3-3-14
☎ 03-3616-1671
FAX.03-3616-1676
<http://www.hikaku.metro.tokyo.jp/>



施設見学

教育機関や企業・団体等の見学を受入れています。見学時間1時間。

研究

豚皮の有効利用、ビッグスキンの新規用途開発、革の特性、副産物・廃棄物の有効利用などの研究を行っています。



試験

皮革原材料や製品等の各種試験を行っています。引張強さ、伸び、吸湿度、耐湿度などの物理試験や、染色堅牢度、皮革の物性などの試験をします。受託試験はご相談ください。

研修・講習会

皮革製品等の品質向上・生産工程の改善を図るための研修や講習会を開催しています。

展示室

代表的な皮革のサンプル、多様なビッグスキン素材、ビッグスキンを用いた製品が展示されています。

技術相談

皮革製造や皮革製品に関する諸問題について相談・助言を行います。

開放機器の貸出

実験棟内に縫製・染色・仕上げ用機械等を設置し、皮革関連業界に開放しています。新製品の開発や新技術の習得など、試験室としてご利用いただけます。

■開放機器…ステンレス製ドラム（大小）・空打ち太鼓・真空乾燥機・バフイングマシン・ポリッシングマシン・吹き付け塗装ブース・グレーシングマシン・油圧式型押しプレス・ネット張り乾燥機・その他



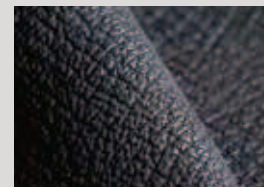
Kusakage Shark Leather CO.

有限会社日下部工業所

シャーク・スキンを扱うタンナーです



reccomend



シャーク・ブラック
使い込むほどに艶が出ます。高級感ある光沢



シャーク・モノトーン
表面の凹凸のシボ感を生かした濃淡が美しい

有限会社日下部工業所

〒329-4401
栃木県栃木市大平町牛久 659
電話 0282-22-2354
FAX 0282-25-6354

地図



代表取締役
日下部 剛

代表取締役 日下部 剛

- ☐ 企業
☐ クリエイター
☒ 一般（ネットショップ）

石居みさお皮革	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-21-13	03-3616-8264
(株)エセカ	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-19	03-3613-8851
小川化学(有)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-15	03-3611-4907
三恵産業(株)	130-0002	東京都 墨田区 業平 1-3-10 ソレイユ業平 101	03-5637-8511
(有)T.M.Y's	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-14-21	03-5630-8189
(有)ティグレ	272-0813	千葉県 市川市 中山 1-7-15	090-1658-4860
墨田革漉工業(株)	131-0041	東京都 墨田区 八広 4-43-4	03-3613-2131
(株)墨田キール	131-0041	東京都 墨田区 八広 4-9-2	03-3617-8551
墨田産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-5-18	03-3617-4411
(有)田丸製革所	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-6-5	03-3611-3062
長坂染革(株)	124-0006	東京都 葛飾区 堀切 1-34-8	03-3691-1161
栃木レザー(株)	328-0033	栃木県 栃木市 城内町 2-1-4	028-224-0666
(株)ニシノレザー	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-5-3	03-3616-4961
福島化学工業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-9-17	03-3616-0010
本田産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 2-16-1	03-3611-0205
まる幸商会	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 2-22-7	03-3611-1352
山口産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-11-10	03-3617-3868
山巳皮革染色(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-9	03-3616-2355
トウキョウレザーファクトリー	131 0046	東京都 墨田区 京島 1 8 8	03 6821 1960

ビッグスキン取り扱い業者リスト

01

石居みさお皮革販売代理店
中村貿易株式会社
墨田区押上3-62-3中村ビル
TEL.03-6657-4440

02

株式会社エセカ
墨田区東墨田3-15-19
TEL.03-3613-8851

03

墨田革漉工業株式会社
墨田区八広4-43-4
TEL.03-3613-2131

04

株式会社墨田キール
墨田区八広4-9-2
TEL.03-3617-8551

05

有限会社 T.M.Y's
墨田区東墨田3-14-21
TEL.03-5630-8189

06

長坂染革株式会社
葛飾区堀切1-34-8
TEL.03-3691-1161

07

株式会社ニシノレザー
墨田区東墨田3-5-3
TEL.03-3616-4961

08

福島化学工業株式会社
墨田区東墨田3-9-17
TEL.03-3616-0010

09

三恵産業株式会社
墨田区業平1-3-10 ソレイユ業平101
TEL. 03-5637-8511

10

東京都立皮革技術センター
墨田区東墨田三丁目3番14号
TEL.03-3616-1671
京成電鉄 押上線「八広駅」から徒歩15分
JR総武線「平井駅」から
都営バス「上23系統」(「上野松坂屋前行」又は「青戸車庫前行」)乗車
バス停「東墨田三丁目(都立皮革技術センター前)」下車
徒歩3分

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2025

企画制作：株式会社ソーシャルデザイン研究所
徳永 美子 (design.T.rooms)
協力：一般社団法人日本皮革産業連合会
東京都立皮革技術センター
デザイン：yukino design works
イラスト：yukino (P.3〜5) / Rino (P.12〜13) / 小澤恵美 (P.14〜15)
草間麻衣子 (P.17)
取材：川崎智枝、鈴木清之
撮影：馬杉真理子、増田義和
印刷：株式会社サンコー
2024 年11 月発行

